



のためにさらわれてしまい、直すのにとどりの黒谷村の人々のおうえんを求めたといひます。

そこで、名主吉津新六郎は、この苦しみをすくうために自分の山の木を売ったお金を出して、せきを上流に移し、山ぎわの岩をけずってほりをつくることを村人に相談しました。村人はおおいにかんげきして工事にはげみ、「長浜せき」を完成させたといひます。

④ せきの取り入れ口 (あまぶち)



⑤ 現在の長浜地区

